



みまさかのくに 美作国建国1300年 Vol.18

岡美作国建国1300年記念事業推進室 ☎32-7002



夏空に

城下を見下ろす

模擬天守

八月二日から十八日まで、その姿を現した模擬天守。制作を手掛けた人は「津山に住んでいる人に郷土愛を持つてほしい。郷土に誇りと愛着を持つにはシンボルが必要だ」と語りました。皆さんは模擬天守を見てどのようなことを感じましたか。

津山城天守復元～今こそ和っしょい！津山城～

美作国分寺跡(国分寺)では、伽藍配置が花畑で再現される予定です

第9回全国国分寺サミット2013 in 美作国分寺
全国から国分寺跡がある自治体が集まって、各地の取り組みを紹介し、史跡を活用したまちづくりをテーマに討議をします。
また、記念講演も行います。
とき 10月12日(土)午後1時30分～
ところ ベルフォールレ津山(アルネ・津山7階)
演題 国分寺建立の意義
講師 狩野 久さん(奈良文化財研究所名誉研究員)
図第9回全国国分寺サミット2013 in 美作国分寺実行委員会事務局(文化課・弥生の里文化財センター内) ☎24・8413

津山工業高等学校の生徒が制作した美作国分寺の復元模型を展示します



詳しくは、広報つやま10月号で知らせるぞ

陶棺復元プロジェクト 進行中!!

古墳時代の美作地域を特徴づけるものの一つ「陶棺」。勝北地区の水原古墳から出土した陶棺をモデルに、実物大で復元し、展示します。
図文化課・弥生の里文化財センター ☎24・8413



きらめく

津山人

NPO法人つやまコミュニティFM
理事長 村田 勇さん

平成21年に開局したコミュニティFM放送局「エフエムつやま」。開局に携わり、自らも番組を担当してマイクの前に座る村田さんにお話を伺いました。

どんな放送局のですか

津山市と近隣市町村を受信範囲とするFMラジオの放送局です。行事や出来事など、地域に密着した情報や防災情報、災害時の緊急情報など、自主制作の番組を放送しています。番組の制作は、誰でも参加することができ、学生など、ボランティアを含む約150人が番組制作に関わっています。

番組では、方言を使って話すなど、地域性を大切にしています。また、インターネットでも配信しているの、他県から来て市内の大学で学ぶ学生の番組などを、学生の家族も聴くこともできます。
放送局を立ち上げるきっかけは
平成17年、わたしは、インターネットを利用して市の行事を支援する団体にボランティアをしていました。そんな時、FMラジオの放送局を立ち上げようと誘われたのがきっかけです。津山のまちに密着した放送局があれば面白いだろうと思い、参加しました。

力を入れていることはありますか

リスナー(ラジオを聴いてくれる人)や会員を増やすことに力を入れています。コミュニティFM放送局は、地域の情報を発信したいボランティアや個人、企業の会員によって支えられています。リスナー(ラジオを聴いてくれる人)や会員を増やすためには、地域の皆さんにエフエムつやまを知ってもらい、支援しようと思ってもらえる放送局にならないといけないと思っています。

今後の活動は

エフエムつやまは、市と防災協定を締結していて、今後、緊急告知F

Mラジオを導入していきます。そこで、災害の被害状況などを緊急放送していきます。地域防災のために、わたしたちにできることを考えながら、番組作りもしていきたいと思っています。
また、FM放送を通じて中心商店街を盛り上げる活動なども続けていきたいですね。

津山の人へ伝えたいこと

家庭や車など、いつでも気軽にエフエムつやまを聴いてもらえるとうれしいですね。個性豊かな学生が担当する番組などもあるので、生の声を温かい気持ちで聴いてほしいです。そして、普段から津山の知りたい情報が流れている、気になる情報が得られる、皆さんから信頼される放送局にしたいです。



番組制作の打ち合わせの様子

みんなから信頼される

放送局にしたい

